

くらしき作陽大学

(シラバス)

消費者心理学				河村敦																
3～4	2単位	後期	1コマ																	
【授業の目的】 消費行動を消費者の立場から心理学的に検討し、将来的にサービスや商品などを提供する立場になったときに、消費者を理解した対応ができる力を身に付ける。																				
【授業内】																				
<table border="0"> <tr> <td>1 ガイダンス</td> <td>9 消費行動への集団やサブカルチャーの影響</td> </tr> <tr> <td>2 消費者行動への心理学的接近</td> <td>10 実践研究(販売企画1)</td> </tr> <tr> <td>3 消費者の知覚</td> <td>11 実践研究(販売企画2)</td> </tr> <tr> <td>4 消費者の学習</td> <td>12 実践研究(販売準備)</td> </tr> <tr> <td>5 消費行動へのパーソナリティやライフスタイルの影響</td> <td>13 実践研究(販売・サービス提供1)</td> </tr> <tr> <td>6 消費者の態度形成と変容</td> <td>14 実践研究(販売・サービス提供2)</td> </tr> <tr> <td>7 消費行動への環境の影響</td> <td>15 実践研究(反省・まとめ)</td> </tr> <tr> <td>8 消費行動への他者の影響</td> <td></td> </tr> </table>					1 ガイダンス	9 消費行動への集団やサブカルチャーの影響	2 消費者行動への心理学的接近	10 実践研究(販売企画1)	3 消費者の知覚	11 実践研究(販売企画2)	4 消費者の学習	12 実践研究(販売準備)	5 消費行動へのパーソナリティやライフスタイルの影響	13 実践研究(販売・サービス提供1)	6 消費者の態度形成と変容	14 実践研究(販売・サービス提供2)	7 消費行動への環境の影響	15 実践研究(反省・まとめ)	8 消費行動への他者の影響	
1 ガイダンス	9 消費行動への集団やサブカルチャーの影響																			
2 消費者行動への心理学的接近	10 実践研究(販売企画1)																			
3 消費者の知覚	11 実践研究(販売企画2)																			
4 消費者の学習	12 実践研究(販売準備)																			
5 消費行動へのパーソナリティやライフスタイルの影響	13 実践研究(販売・サービス提供1)																			
6 消費者の態度形成と変容	14 実践研究(販売・サービス提供2)																			
7 消費行動への環境の影響	15 実践研究(反省・まとめ)																			
8 消費行動への他者の影響																				
【テキスト】 プリント資料配布																				
【参考図書】 なし																				
【成績評価の方法】 コミュニケーションシート(10%)、実習参加(50%)、課題提出(40%)によって総合的に評価する。																				

11002, 11005

食料経済				原田節也
1～4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 食料の生産から流通・消費にいたる過程で生じている主要な食糧問題の本質を身近な経済問題として学ぶとともに、問題の解決に向けた経済学的な考え方の素養を身につける。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1 食料経済ガイダンス～食料経済学で何を学ぶの？ 2 わが国の主要食糧問題～食料輸入大国の悩みとは？ 3 食料経済学入門①～世の中を経済学的に見ると？ 4 食料経済学入門②～市場システムは人類の英知！ 5 経済発展と食料消費～経済発展は消費の形を変えた！ 6 家計と食料消費～家計の違いによってこんなにも違う！ 7 ブランド化と食料消費～人はブランドに弱い？ 8 食料生産をめぐる問題～わが国の農業が抱える問題は？ 9 食品加工をめぐる問題～わが国の食品製造業と小売業の実態は？ 10 流通をめぐる問題①～中央卸売市場の役割と変遷！ 11 流通をめぐる問題②～様変わりする食品小売業！ 12 流通をめぐる問題③～米の流通は大きく変わった！ 13 流通をめぐる問題④～輸入依存型の大豆、小麦の場合は？ 14 将来の食料の安定供給は可能か？～最近の動きをさぐる 15 課題演習～安定的な食料供給の実現に向けて！ 				
【テキスト】 主として、資料・プリントを利用				
【参考図書】 必要な場合は、講義内容に応じて示す。				
【成績評価の方法】 講義の受講態度、レポート内容等を総合的に判断して評価。				

音響学				加藤充美
1～4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 音楽は「音」の芸術である。音楽を实践する者にとっては素材となる「音」の知識・常識は重要であり、その「音」の知識・常識を修得することを目的とする。目標は、音の三要素、平均律の意味、身近な楽器の音響学的な特徴を他の人に説明できるようにすること。				
【授業内】 1 授業ガイダンス 2 音とはなにか？(音響学の歴史) 3 音の観察(音の聞こえと音の三要素) 4 倍音の話(音程と音律) 5 色々な音律 6 色々な音の現象 7 部屋の響き 8 音の放射 9 楽器の音響学Ⅰ(楽器の分類、ピアノ) 10 楽器の音響学Ⅱ(管楽器) 11 楽器の音響学Ⅲ(弦楽器) 12 歌声の音響学、打楽器の音響学 13 電気音響機器 14 コンピュータと音楽 15 まとめ				
【テキスト】 配布資料				
【参考図書】 楽器の音響学(音楽之友)、音の何でも小事典、図解雑学のしくみ				
【成績評価の方法】 日々的小テスト(50%)、レポート2題(50%)によって総合的に評価する。				

中国語Ⅰ				韓雲冬
1～4	1単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 1. 中国語の基本的な発音ができるようになること。 2. 中国語の簡体字を正しく理解し、書けること。 3. 中国語文法の基本的事項を理解し、活用できること。 4. 初歩的・日常的な中国語の会話表現ができること。 5. 短い中国語の文章を理解できること。				
【授業内容】 1 授業概要及び中国・中国語についての紹介 発音(声調、単母音) 2 発音(複母音、子音) 3 発音(鼻母音、そり舌母音、音節) 4 発音の小テスト 5 第1課 出会いー語彙と本文 6 第1課 出会いーポイントとドリル 7 第2課 ガールフレンドー語彙と本文 8 第2課 ガールフレンドーポイントとドリル 9 第3課 ランチャー語彙と本文 10 第3課 ランチャーポイントとドリル1 11 第3課 ランチャーポイントとドリル2 12 第4課 3人でー語彙と本文 13 第4課 3人でーポイントとドリル 14 総合練習ユニット2 15 授業のまとめ				
【テキスト】 相原茂 陳淑梅 飯田敦子 著『一年生のころ ビデオで学ぶ入門中国語』朝日出版				
【参考図書】 相原茂『中国語発音ビデオ 快音』朝日出版 遠藤光暁『映像シリーズ中国』朝日出版社				
【成績評価の方法】 定期試験と平常点による成績評価(配分点は5:5)。				